

支援のヒント

支援していただきたいことを下表に示しています。この内容を参考に、子どもたちの支援をお願いいたします。なお、下表には記していませんが、次の2つの行為を見られたら毅然と注意していただき、教員にお知らせください。学校と家庭が協力することで、今まで以上に安心して豊かに学ぶことができるような学校をめざします。

■ けがにつながるような危険な行為

■ 心を傷付けるようないじめにつながる言動

必要な時に	学年	支援の内容（例）
ア.体育（水泳）	全	子どもたちの見守り。
	全	トイレの誘導、手洗い指導。
イ.校外学習	全	子どもたちの見守り。交通安全。
ウ.家庭科	高	調理実習における安全の見守り。
	高	ミシン操作における安全の見守り。
	高	手縫いにおける児童サポート（玉留め、玉結び、返し縫い）。
エ.授業支援	全	活動等が多く、学習の見守りや一緒に活動する必要がある場合の支援。

常時	学年	支援の内容（例）
オ.清掃（常時）	全	ほうきやぞうきんの使い方の手助け。
	全	片付けの手助け。
カ.愛校当番（常時）	高	児童と一緒に活動をする。
	高	児童や地域の方へのあいさつを進んで行う。
	高	竹ぼうきを使った掃き方などの指導。片付け指導。
	高	交通安全への配慮。
キ.業間（常時）	全	トイレのスリッパ、手洗いの声かけ。
	全	廊下歩行、階段歩行の声かけ。
	全	【外】けがをした児童を保健室へ誘導の補助。
	全	【外】外遊びの後のみかじめなど。
ク.昼休み（常時）	全	トイレのスリッパ、手洗いの声かけ。
	全	廊下歩行、階段歩行の声かけ。
	全	【外】観察したり、一緒に遊んだりしながら、規範意識を高める声かけ（ルールの遵守等）
	全	【外】外遊びの後のみかじめなど。